

新笠間市議会 スタート!

3月19日の新笠間市誕生後の初めての笠間市議会臨時会（平成18年第1回）が、4月4日、5日の2日間の会期で開かれました。新市の議会議員として、旧3市町の議会議員53名が参集し、正副議長をはじめ、各常任委員会委員、議会運営委員会委員や一部事務組合議会議員などが選出され、新議会の体制がスタートしました。

今号では、その新笠間市議会の体制をご紹介します。

なお、今臨時会では、新市誕生に伴う条例制定や暫定予算など市長職務執行者による専決処分※について承認を求める議案が提出され、議会として承認しました。

※専決処分…議会が議決又は決定しなければならない事件について、法定事由に該当する場合及び議会の議決により委任された場合に、長が議会に代わって処分すること。

正副議長 あいさつ



副議長
畑岡
進



議長
大関
久義

新笠間市発足後の初議会におきまして、私も議員各位のご推挙により正副議長の要職につくことになりましたことは、誠に身に余る光栄といたすところであり、また同時に、責任の重さを痛感しているところでございます。お引き受けしたからには、議会が公正公平に、しかも円満に運営されるよう誠心誠意微力を尽くしてまいります。今後とも議員各位をはじめ、市執行部並びに市民の皆様方の手厚いご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

当市議会としても、合併が市民にとってよかったと思えるような「まちづくり」のために、旧市町間の垣根をなくし、市民の中に共生、共援の醸成を図りつつ、地域の特徴を生かしながら均衡のとれた発展をめざすと共に、国際化・情報化に対応したまちづくりに努めていく必要があると思えます。

そのためにも、執行部との摩擦は極力さげつつ、安易な妥協に陥ることなく、是々非々の立場を堅持し、正しく相携えて8万市民の信託にこたえてまいりたいと存じます。

かように考えておりますことを述べ、就任のあいさつといたします。